

JLCC 授業シラバス

講義コード	JL103
講義科目名	日本語・日本文化概論 A
開講年度	
開講学期	秋学期
曜日時限	金曜日 2 時限
必修選択	選択必修
単位数	2 単位
担当教員	郭 俊海
使用言語	日本語
教室	センター5 号館 5701
授業概要・目標	有名な作家の作品を読むことを通じ、日本語の力をつける。具体的には、様々なスタイルの文章（小説）にふれ、これまで習った文法のレビューを行う。また、作家の感じ方や考え方を正確に読み取り、語彙を増やしながらか文学作品（小説）を読み、それに対する自分の考えを述べ、話す力や書く力を伸ばしていく。さらに、それぞれの作品の背景にある社会の様子を捉え、当時の社会状況を理解し、総合的に考える力を育成する。
授業形態	配布された教材（作品）を読み、タスクシートの質問の答えを書いてクラスに持って来る。クラス活動では、3-4 人のグループに分かれ、時代や作家について、各自が書いてきたタスクシートの答えを紹介しあい、それについてみんなで話し合ってみる。
履修に関わる注意事項	1. 必ず予習をしてくること。 2. 宿題は必ず提出期限までに提出すること。 3. できるだけ欠席や遅刻をしないようにすること（やむを得ない場合の欠席や遅刻は必ず連絡すること）。
授業計画（予定）	1. オリエンテーション「外国語を学ぶ」とは？「社会や文化を学ぶ」とは？ 2. 文学作品を読む練習 川端康成「写真」（1924 年） 3. 近代日本文学の背景 1 夏目漱石 1 4. 夏目漱石 2 5. 近代日本文学の背景 2 芥川龍之介 1「地獄変」 6. 芥川龍之介 2 7. 発表 1（私の国の文学作品紹介） 8. 近代日本文学の背景 3 志賀直哉 1「清兵衛と瓢箪」 9. 発表 2（私の国の文学作品紹介） 10. 志賀直哉 2 11. 発表 3（私の国の文学作品紹介） 12. 近代日本文学の背景 4 大岡昇平「野火」 13. 発表 4（私の国の文学作品紹介） 14. 近代日本文学の背景 5 遠藤周作「侍」 15. まとめ
テキスト	毎回プリントを配布する。
成績評価	1. 平常点 20%（授業態度、教室活動に貢献できるかなど） 2. 発表 10% 3. 課題（タスクシート）70%
その他 （自由記述欄）	発表のガイドラインは最初の授業時に配布する。

JLCC 授業シラバス

講義コード	JL104
講義科目名	ドキュメンタリー番組で学ぶ日本語
開講年度	2022 年度
開講学期	後期（秋学期）
曜日時限	木曜 2 限
必修選択	選択必修
単位数	2 単位
担当教員	柴田あづさ
使用言語	日本語
教室	
授業概要・目標	この授業では、ドキュメンタリー番組を通して、日本の文化や社会問題、人々の考え方を知るとともに、聴解によって様々な日本語の語彙や表現を学ぶ。履修者は、授業活動を通して日本語力を向上させるだけでなく、日本と自国の状況の異同を認識し、意見や考えを述べられるようになることを目指す。
授業形態	この授業は、①ドキュメンタリー番組を視聴する、②ディクテーションを行う、③クラスメートと意見や情報を交換する、④リフレクションシートに記入して教師に提出する、という流れで進めていく。リフレクションシートには、この授業でどのような気づきを得たり自らの考えが変わったりしたかを記入してもらう。また、授業の理解度は、翌週の授業開始時にクイズを実施して確認する。学期末にはレポートの提出を課す。期末テストは行わない。
履修に関わる注意事項	授業中に出てきた語彙や表現はよく復習し、教室の外での日本語活動に積極的に役立ててほしい。
授業計画	1. オリエンテーション 2. ドキュメンタリー番組 素材 1 3. ドキュメンタリー番組 素材 2 4. ドキュメンタリー番組 素材 3 5. ドキュメンタリー番組 素材 4 6. ドキュメンタリー番組 素材 5 7. ドキュメンタリー番組 素材 6 8. ドキュメンタリー番組 素材 7 9. ドキュメンタリー番組 素材 8 10. ドキュメンタリー番組 素材 9 11. ドキュメンタリー番組 素材 10 12. ドキュメンタリー番組 素材 11 13. ドキュメンタリー番組 素材 12 14. ドキュメンタリー番組 素材 13

	15. ドキュメンタリー番組 素材 14
テキスト	使用しない
参考書	プロジェクト X 挑戦者たち DVD プロフェッショナル 仕事の流儀 DVD 他
成績評価	授業態度 20% 理解度確認クイズ 25% リフレクションシート 25%、レポート 30%
学習相談	授業の前後または要望に応じて対応する。
その他 (自由記述欄)	※視聴する番組は履修者の日本語力に合わせて設定する。

ILCC 授業シラバス

講義コード	JL106
講義科目名	日本社会と地域方言
開講年度	2023 年度
開講学期	後期（秋学期）
曜日時限	金曜日 3 時限
必修選択	選択必修
単位数	2 単位
担当教員	楠木 理香
使用言語	日本語
教室	5701
授業概要・目標	ことばと地域、ことばと社会のそれぞれの関わりを考え、日本語の地域方言の特色について学ぶ。自分がこれまで学習し、日常生活の中で触れてきた日本語を今一度振り返り、日本の地域方言について知識を広げ、日本語及び今後の日本語学習に対する興味をさらに深めていくことを目標とする。
授業形態	1. 講義 2. ディスカッション 3. 発表
履修に関わる注意事項	
授業計画	1. ガイダンス、地図から見えることばの地域差（1） 2. 地図から見えることばの地域差（2） 3. ことばの仕組みから見える地域差（1） 4. ことばの仕組みから見える地域差（2） 5. コミュニケーションから見えることばの地域差（1） 6. コミュニケーションから見えることばの地域差（2） 7. コミュニケーションから見えることばの地域差（3） 8. 社会の変化から見えることばの地域差（1） 9. 社会の変化から見えることばの地域差（2） 10. 社会の変化から見えることばの地域差（3） 11. 発表（1） 12. 発表（2） 13. 方言から見える日本の社会（1） 14. 方言から見える日本の社会（2） 15. 方言から見える日本の社会（3）、まとめ
テキスト	なし
参考書	1. 木部暢子・竹田晃子・田中ゆかり・日高水穂・三井はるみ編著（2014）『方言学入門』三省堂 2. 真田信治・朝日祥之・簡月真・李舜炯編（2021）『新版社会言語学図

	集』ひつじ書房
成績評価	10% クラス活動 30% ふりかえりシート／ワークシート 30% 宿題／課題 20% 発表 10% レポート
学習相談	リクエストに応じて随時対応します。メールで連絡してください。
その他 (自由記述欄)	

ILCC 授業シラバス

講義コード	JC101
講義科目名	日本の宗教と社会
開講年度	2023 年度
開講学期	後期（秋学期）
曜日時限	木曜日 1 時限
必修選択	
単位数	
担当教員	木下博子
使用言語	日本語
教室	
授業概要・目標	本講義では、地域研究の観点から日本における宗教と社会について基礎的知識を身につけることを目的とする。具体的には、神道、仏教、キリスト教をはじめとした、日本で信仰されている宗教の歴史的背景を理解した上で、現代日本社会におけるカルト宗教信仰の実態や、宗教と社会との関係性について学ぶ。また、履修者自らの所属するコミュニティや社会との比較を通じて、日本社会のみならず自らの社会についても深く理解するための視座獲得を目指す。
授業形態	講義、ディスカッション、プレゼンテーション
履修に関わる注意事項	
授業計画	第 1 回：オリエンテーション 第 2 回：地域研究① 第 3 回：地域研究② 第 4 回：神話と神道① 第 5 回：神話と神道② 第 6 回：仏教と仏像① 第 7 回：仏教徒仏像② 第 8 回：中間プレゼンテーション（グループ） 第 9 回：キリスト教① 第 10 回：キリスト教② 第 11 回：カルト宗教と社会① 第 12 回：カルト宗教と社会② 第 13 回：個人プレゼンテーションと相互評価① 第 14 回：個人プレゼンテーション相互評価② 第 15 回：まとめ
テキスト	なし。予習や宿題の際に必要な文献を適宜紹介、配布します。
参考書	なし。
成績評価	講義中の発言・参加態度 20%、宿題 40%、中間プレゼンテーション 20%、個人プレゼンテーション 20%
学習相談	短時間の場合、授業の前後に対応します。文献の紹介や、研究テーマの相談等、一定の長さの時間が必要な場合は、メールや口頭でアポイントメントをとってください。
その他 （自由記述欄）	・講義中の積極的な発言を奨励します。 ・宿題は締め切りを守りましょう。 ・授業を欠席する場合は、必ず担当教員に事前に連絡しましょう。

JLCC 授業シラバス
記入書式

講義コード	JC104
講義科目名	ドラマで学ぶ日本の歴史（幕末・明治編）
開講年度	2023 年度
開講学期	後期
曜日時限	水曜日 2 時間目（10:30～12:00）
必修選択	選択必修
単位数	2 単位
担当教員	小山 悟
使用言語	日本語
教室	5701
授業概要・目標	授業概要：このクラスでは、2009 年 10 月から 3 ヶ月間 TBS 系列で放送された連続ドラマ『JIN 仁』（全 11 話）や 2008 年 1 月から 12 月まで NHK で放送された大河ドラマ『篤姫』（全 50 話）、2009 年から 2011 年にかけて NHK で放送されたスペシャルドラマ『坂の上の雲』（全 13 話）を題材に幕末～明治初期の歴史を学びます。 目標：歴史の授業と聞くと、年号や事件の暗記を思い浮かべるかもしれませんが、この授業はそうではありません。学習した内容が無批判に受け入れるのではなく、自ら問いを立て、自己の経験や既有知識と関連づけながら、合理的な説明を求めて多面的かつ論理的に分析できるようになることがこの授業の目標です。
授業形態	講義を中心に進めます
履修に関わる注意事項	・第 1 部～第 3 部は毎週予習と復習を合わせて 3 時間程度の学習が必要です。 ・歴史は漢字語彙が多いので、漢字圏出身の学生は J6 以上、非漢字圏出身の学生は J7 以上であることが望ましいです。幕末・明治の歴史に興味があれば、誰でも受講は可能ですが、上記の条件を満たしていない場合は（他の授業以上に多くの時間をかけて予習・復習をするなど）それなりの覚悟をして来てください。
授業計画	第 1 部：幕末史に対する興味・関心を高める／幕末史の学習に必要不可欠な基礎知識を学習する 1. ガイダンス 2. 幕藩体制 3. 鎖国 第 2 部：幕末の大まかな歴史の流れを理解する 4. 幕末①：黒船来航から条約締結まで 5. 幕末②：将軍継嗣問題 6. 幕末③：攘夷運動の高まり 7. 幕末④：薩長同盟、そして討幕へ 第 3 部：明治初期の日本について様々な角度から分析する 8. 明治①：廃藩置県 9. 明治②：四民平等と徴兵制

	10. 明治③：地租改正と教育改革 11. 明治④：条約改正 第4部 ：第3部までに学んだ知識を使って現代の問題を分析する 12. 期末試験 13. 現在への応用Ⅰ 14. 現在への応用Ⅱ 15. 現在への応用Ⅲ
テキスト	ハンドアウトを配布します
参考書	特にありません
成績評価	①期末試験【25%】 ②予習【15%】 ③宿題【40%】 ④教室活動【20%】
学習相談	月曜日または金曜日
その他 (自由記述欄)	今後の授業改善と教育実践研究のため、授業内で行われるディスカッションを録音したり、提出物やクイズ、アンケートの結果を研究データとして活用したりすることがあります。前者については「話し合いがどの程度活発に行われたか」を分析するために、後者については「授業内容に対する理解がどの程度深まったのか」を分析するために使用します。受講を希望する方は、そのことを承知の上、ご参加ください。なお、みなさんに黙って録音することはありません。また、この授業で収集したデータを用いて学会等で研究発表する場合には、来場者に録音した音声を聞かせたり、手書きされたものを見せたりすることはありません。個人情報の保護に最大限配慮することをお約束します。

JLCC 授業シラバス

講義コード	JC105
講義科目名	四コマ漫画にみる日本 A/Discovering Japan through Four Cell Manga A
開講年度	
開講学期	後期（秋学期）
曜日時限	火曜日 3 時限
必修選択	選択必修
単位数	2 単位
担当教員	和田 玉己
使用言語	日本語
教室	
授業概要・目標	主に新聞連載の 4 コマ漫画を見て、その内容について話し合い、関連した読み物（DVD 視聴）を通して日本の現代社会の理解を深める。また自国との笑い（ユーモア）の違いを知る。言葉遊びを含む様々な日本語表現に触れ親しみ、絵コンテ作成や自国の 4 コマ漫画の台詞を翻訳することによりオノマトペも含む自然な日本語力も高める。
授業形態	課題として発表も行う。毎回の課題（作品や関連資料）をもとにペアやグループで感想を紹介し疑問点を出し合い、ディスカッションも行う。
履修に関わる 注意事項	1.課題の予習を必ず行い、期限までに課題を提出する。 2.他者の課題発表時にも積極的に質問やコメントすることが望まれる
授業計画	・ 第 1 回 オリエンテーション 福岡関連の漫画家、日本在住外国人漫画家の 4 コマ漫画について ・ 第 2 回 朝日新聞「サザエさんを探して」より 4 コマ漫画と記事 ・ 第 3 回 朝日新聞「北欧女子オーサの日本探検」より 4 コマ漫画と記事 ・ 第 4 回 アニメ化されている 4 コマ漫画など

	・ 第5回 絵コンテ作成 オノマトペ、台詞や説明文を書く（※絵は描かない） ・ 第6回 発表① 6コマ漫画の絵コンテ（選んだ6枚のイラストより） ・ 第7回 言葉遊びが含まれる4コマ漫画や記事など ・ 第8回 発表② 日本の駄洒落^{だじゃれ}に挑戦 ダジャレと広告CMについて ・ 第9回 発表③ 私の国の言葉遊び（ダジャレや回文） ・ 第10回 発表④ 私の国の言葉遊び（ダジャレや回文）続きなど ・ 第11回 4コマ漫画「ちびまるこちゃん」とエッセイの文章など ・ 第12回 年末年始事情関連4コマ漫画 や <u>コト消費・モノ消費</u>について ・ 第13回 発表⑤「私が選んだ4コマ漫画」（出身国の漫画家によるもの） ・ 第14回 発表⑥「私が選んだ4コマ漫画」続き ・ 第15回（発表⑦）発表の補足とまとめ と その他の漫画紹介
テキスト	プリントを配布 使用
参考書	清水勲『四コマ漫画—北斎から「萌え」まで』 岩波新書
成績評価	クラス活動の参加態度、提出されたワークシート、発表、レポートなどに基づいて総合的に評価する。 ・ 出席とクラス活動: 20% ・ ワークシート: 20% ・ 発表とレポート: 60%
学習相談	授業の前後またはリクエストに応じて対応する(メールにて事前に連絡すること)。
その他 (自由記述欄)	※予定は変更になることがある

